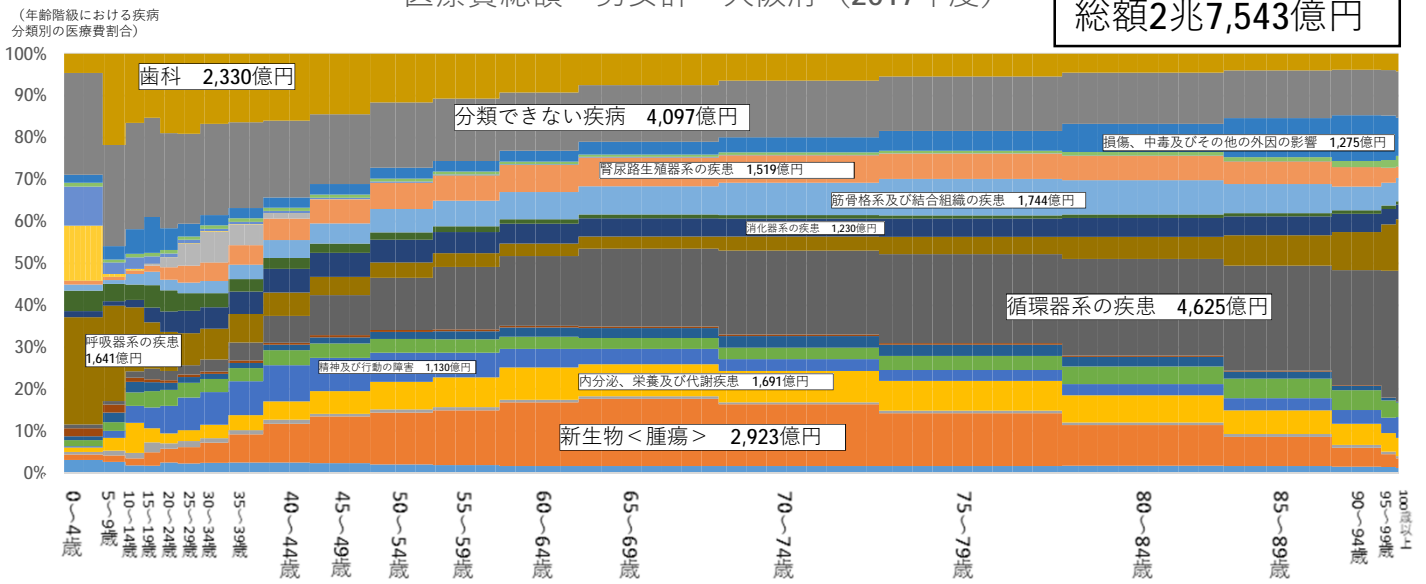


【医療費総額】

- 疾病分類別では循環器系の疾患に係る医療費が男女ともに最大
- 新生物<腫瘍>については、男性に比べ女性の方が若いころから医療費がかかっている

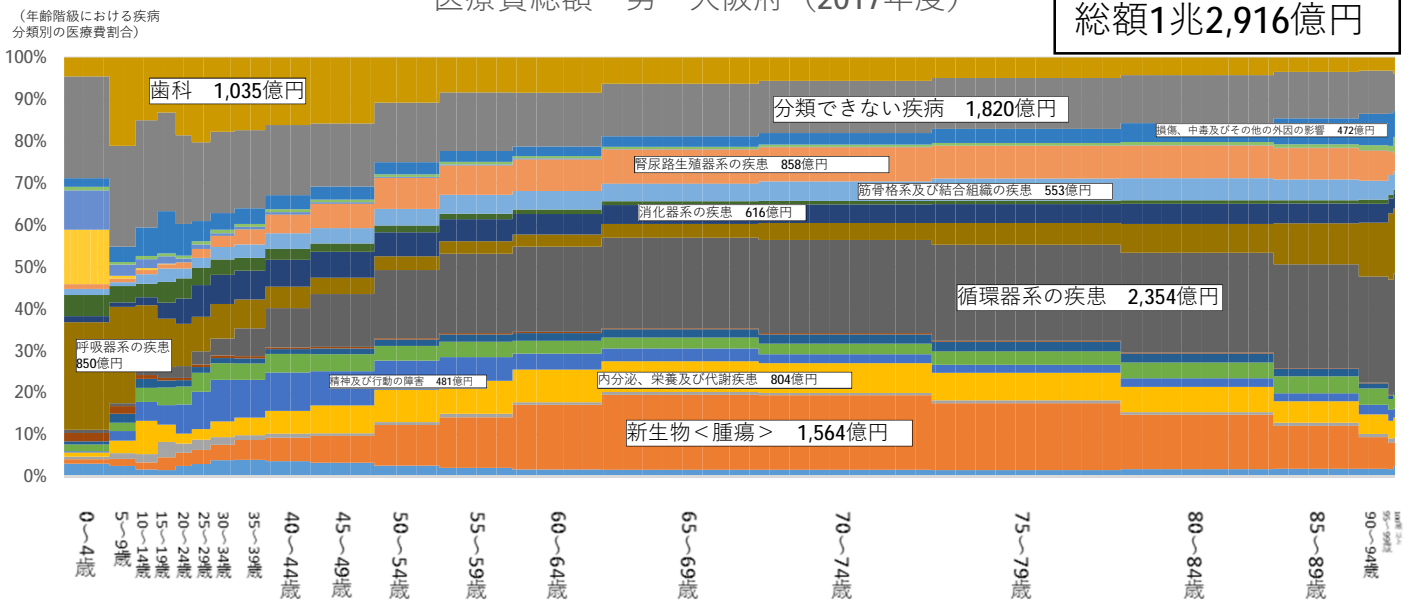
医療費総額・男女計・大阪府（2017年度）

総額2兆7,543億円



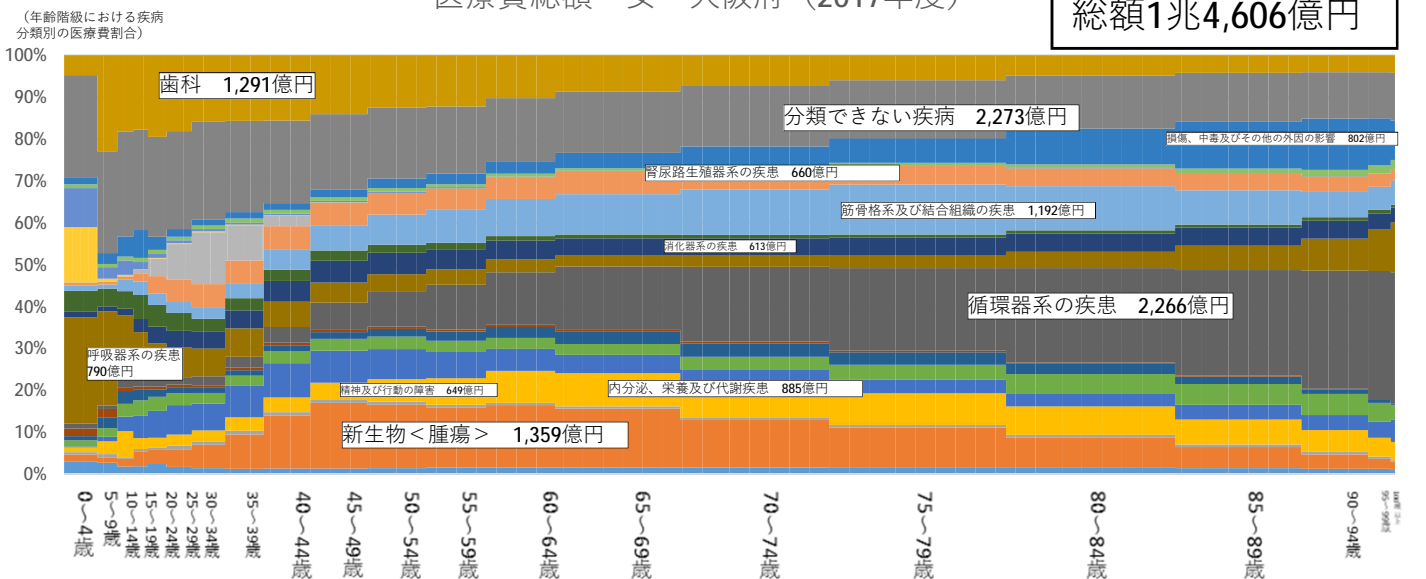
医療費総額・男・大阪府（2017年度）

総額1兆2,916億円



医療費総額・女・大阪府（2017年度）

総額1兆4,606億円



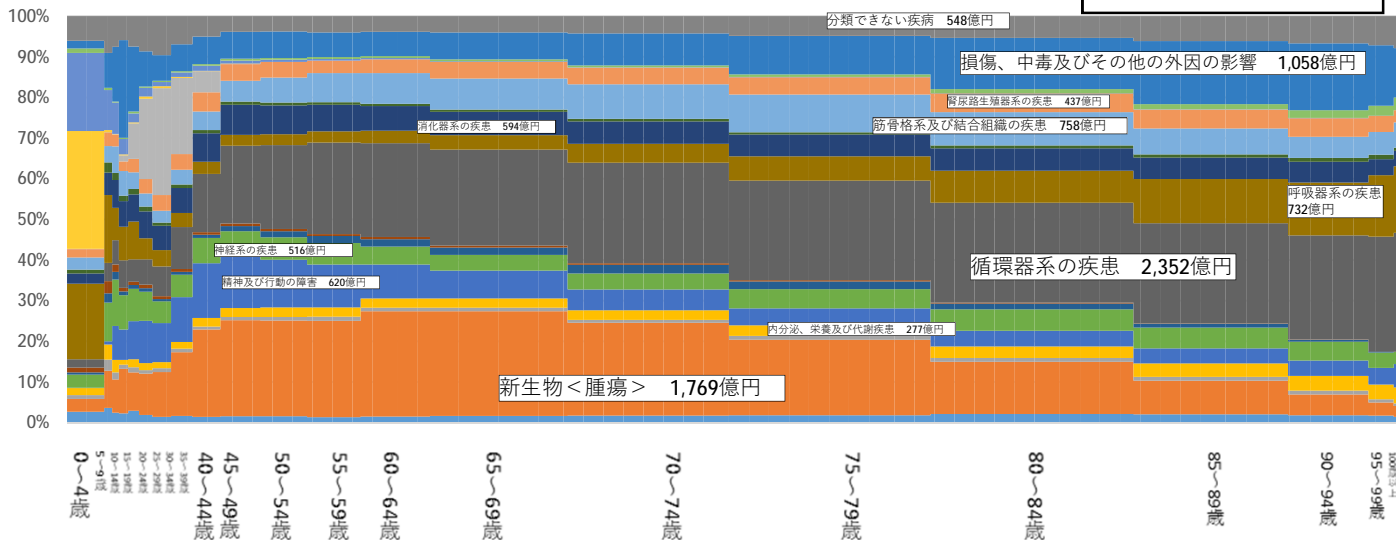
【入院医療費】

- 疾病分類別では循環器系の疾患に係る医療費が男女ともに最大
- 女性では、「筋骨格系及び結合組織の疾患」が前期高齢期に大きく、後期高齢期では損傷傷、中毒及びその他の外因の影響」が大きくなる

(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

入院・男女計・大阪府（2017年度）

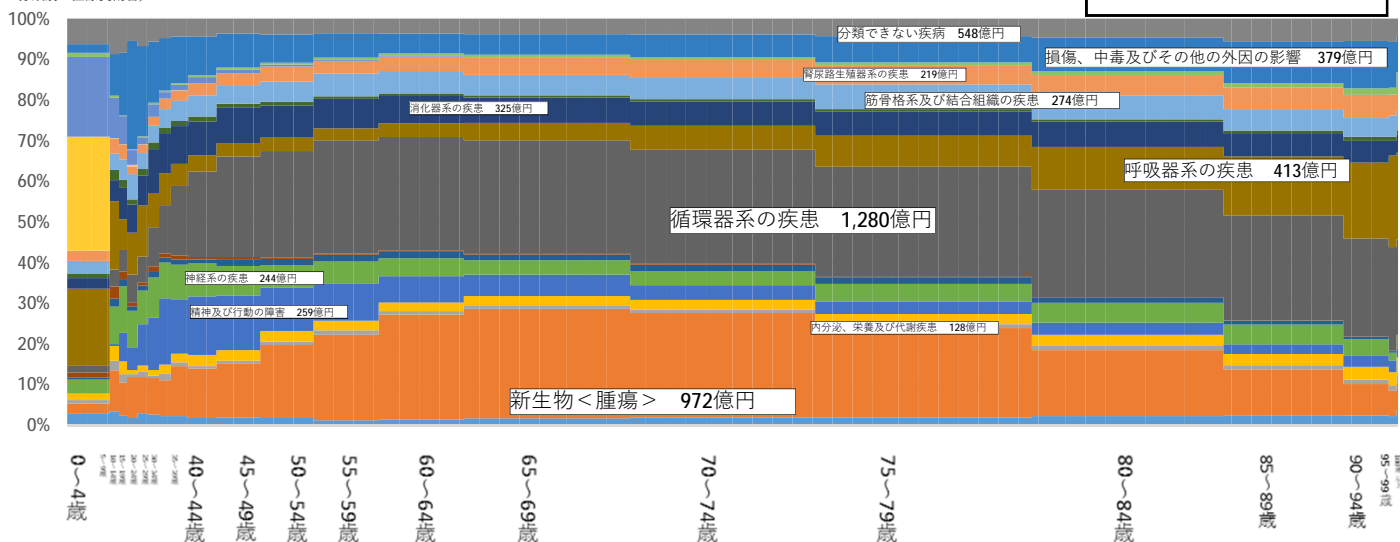
総額1兆608億円



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

入院・男・大阪府（2017年度）

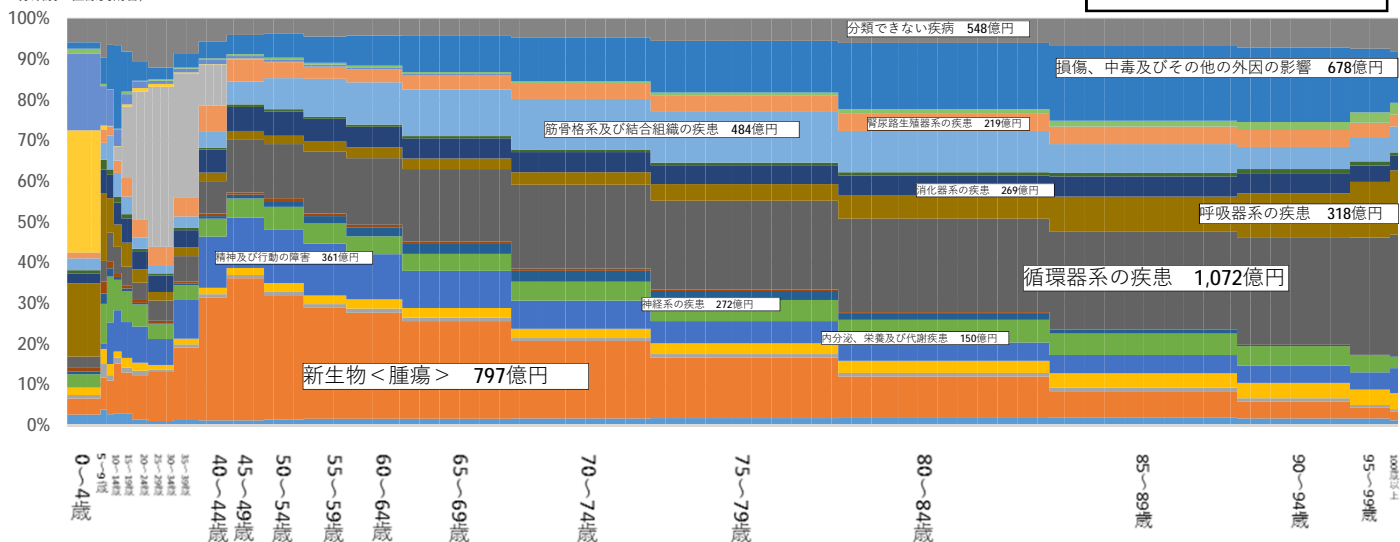
総額5,123億円



(年齢階級における疾病分類別の医療費割合)

入院・女・大阪府（2017年度）

総額5,483億円



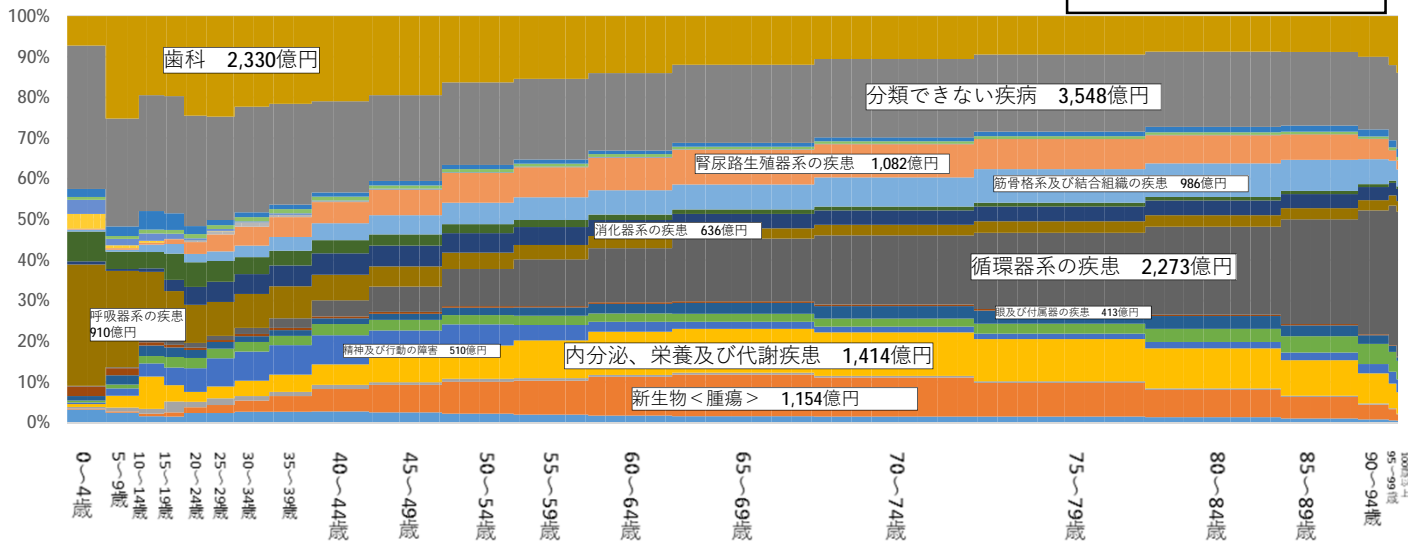
【入院外医療費】

- 中年期から循環器系の疾患にかかる医療費が大きくなるが、この特徴は女性に比べ男性において早く現れる
- 全年齢に渡り、歯科にかかる医療費は一定存在しており、若年期での割合が高い

(年齢階級における疾病
分類別の医療費割合)

入院外・男女計・大阪府（2017年度）

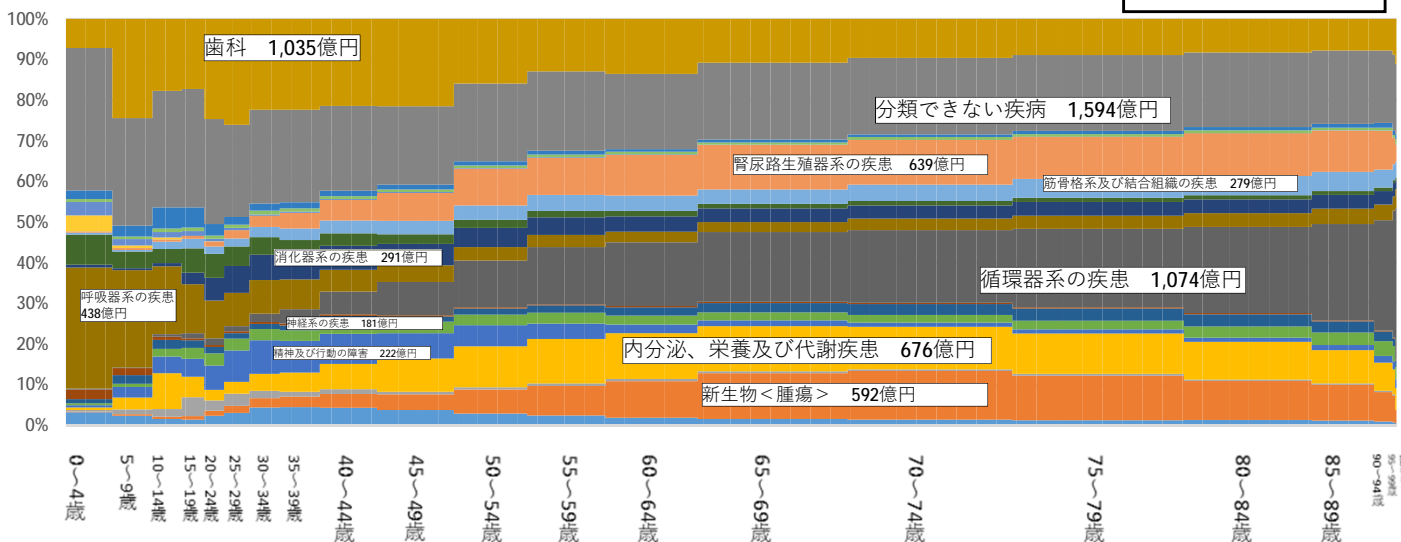
総額1兆6,935億円



(年齢階級における疾病
分類別の医療費割合)

入院外・男・大阪府（2017年度）

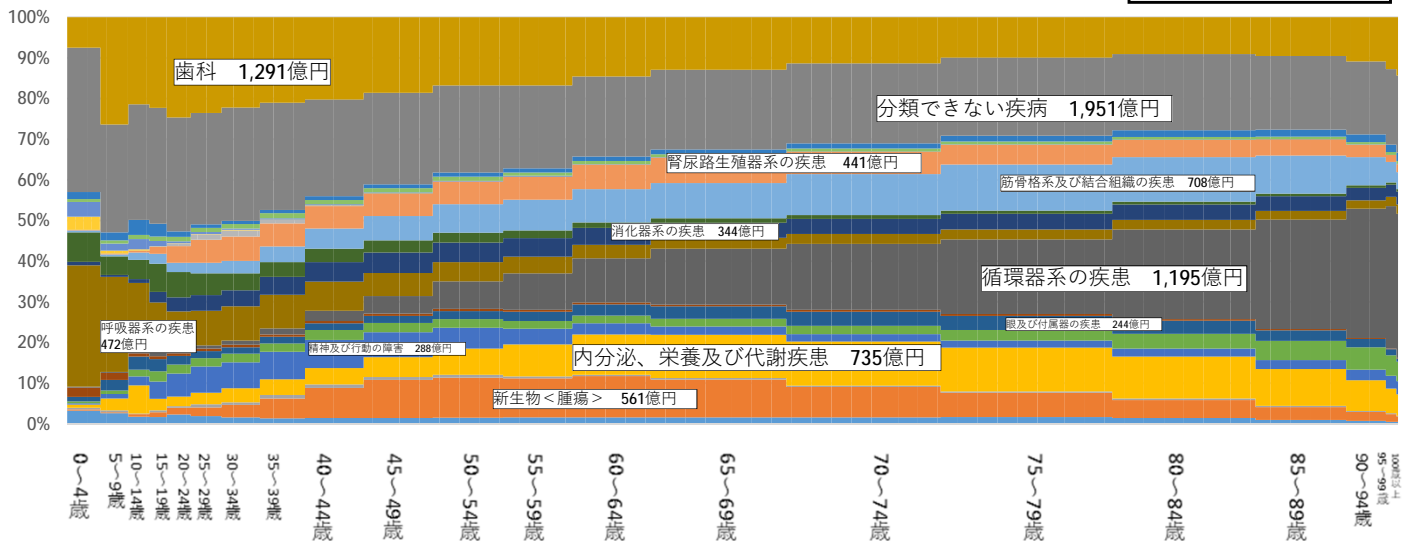
総額7,793億円



(年齢階級における疾病
分類別の医療費割合)

入院外・女・大阪府（2017年度）

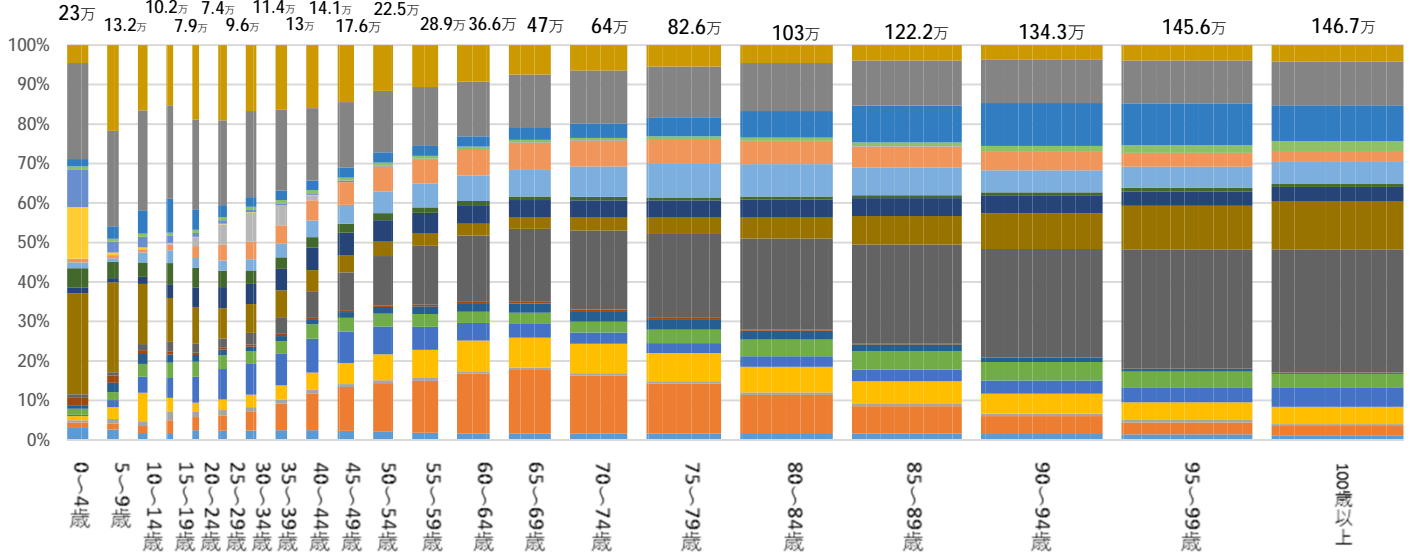
総額9,123億円



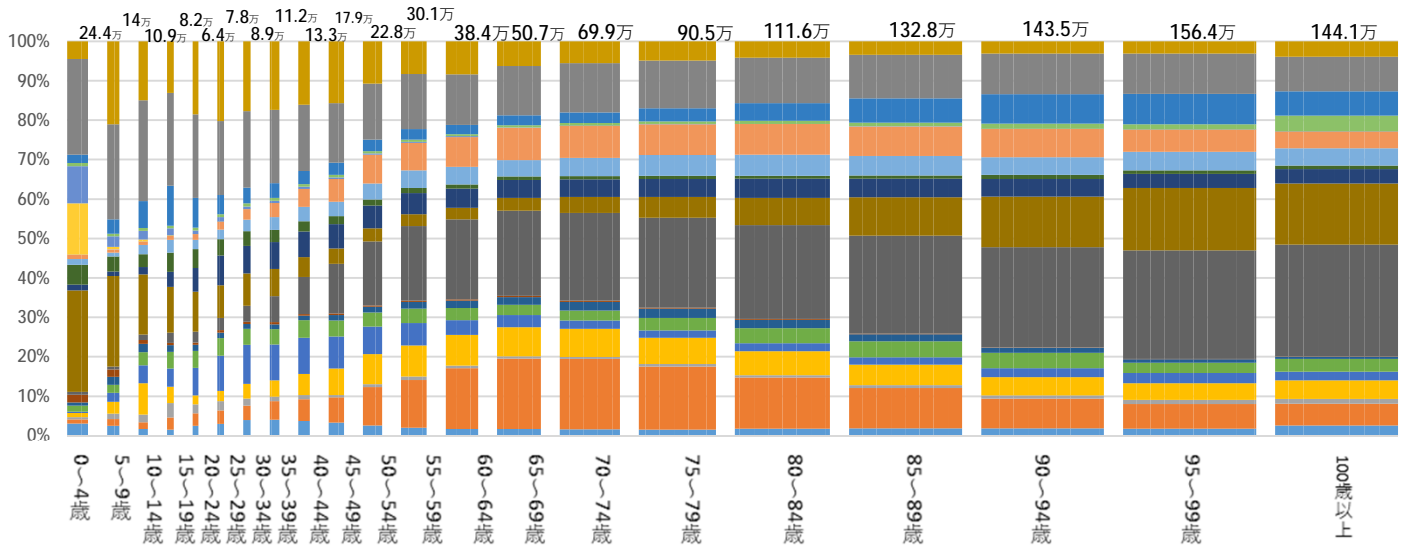
【一人当たり医療費（入院+入院外）】

- 高齢になるにつれ、一人当たり医療費は大きくなる
- 疾病分類別では循環器系の疾患に係る医療費が男女ともに最大

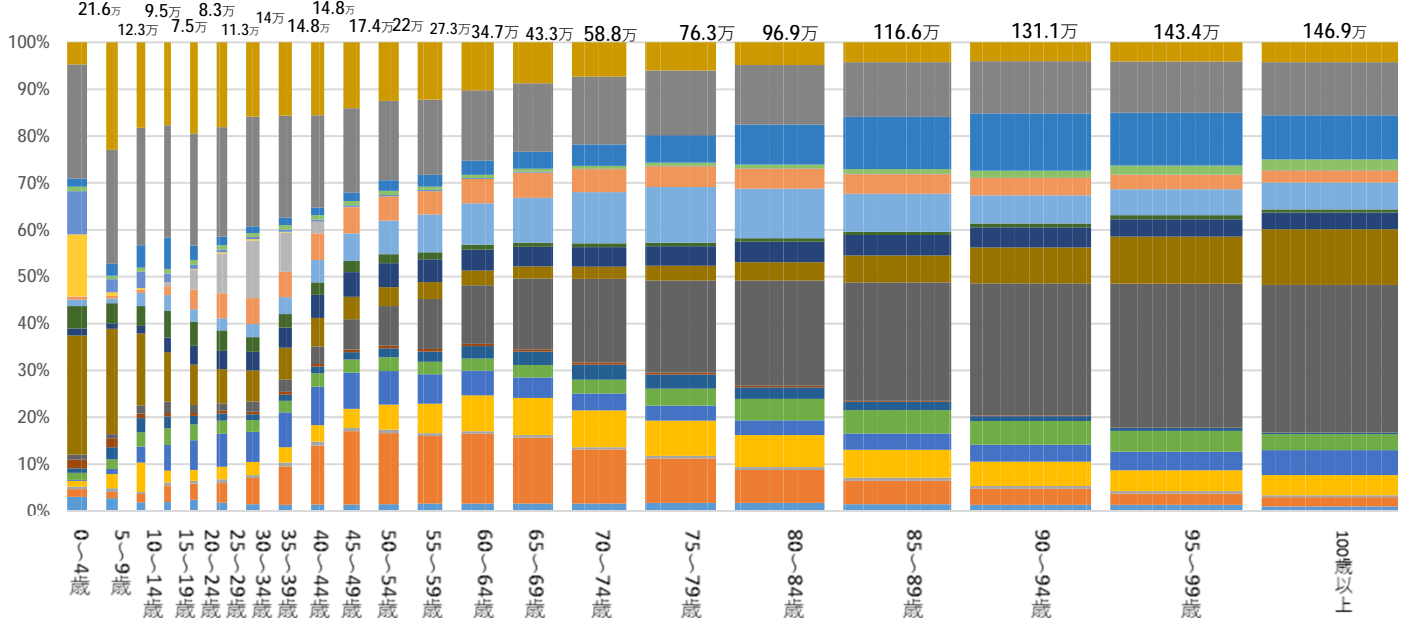
一人当たり・男女計・大阪府（2017年度）



一人当たり・男・大阪府（2017年度）



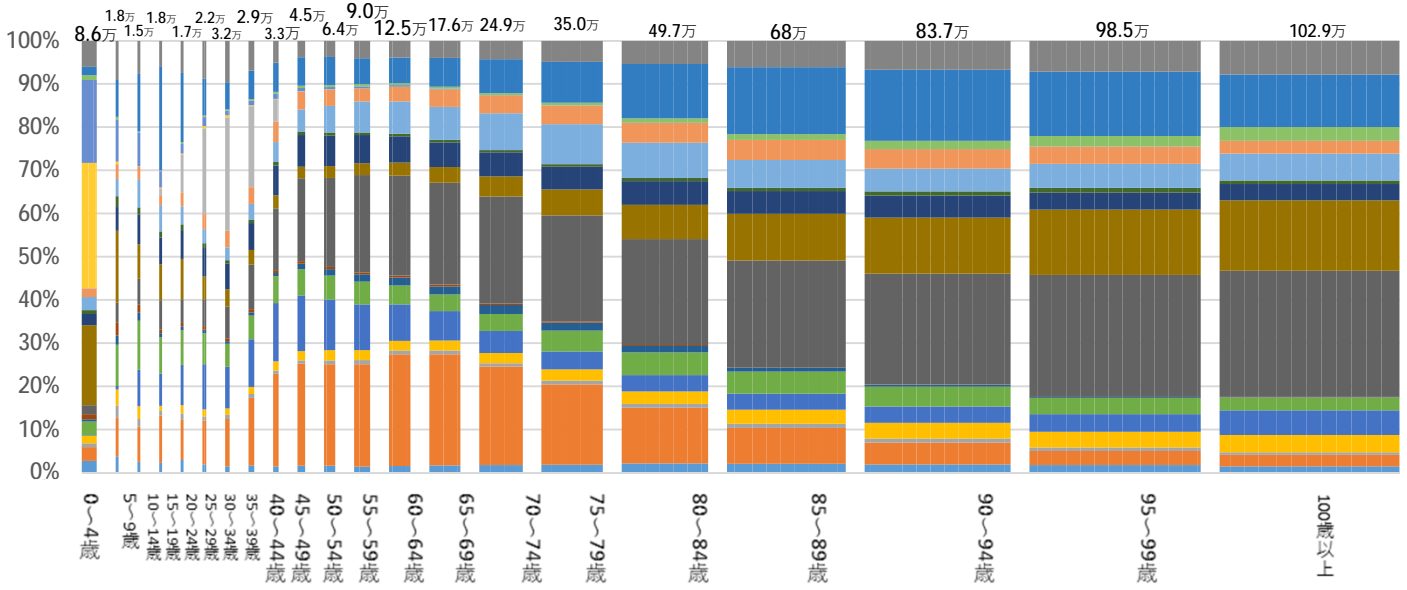
一人当たり・女・大阪府（2017年度）



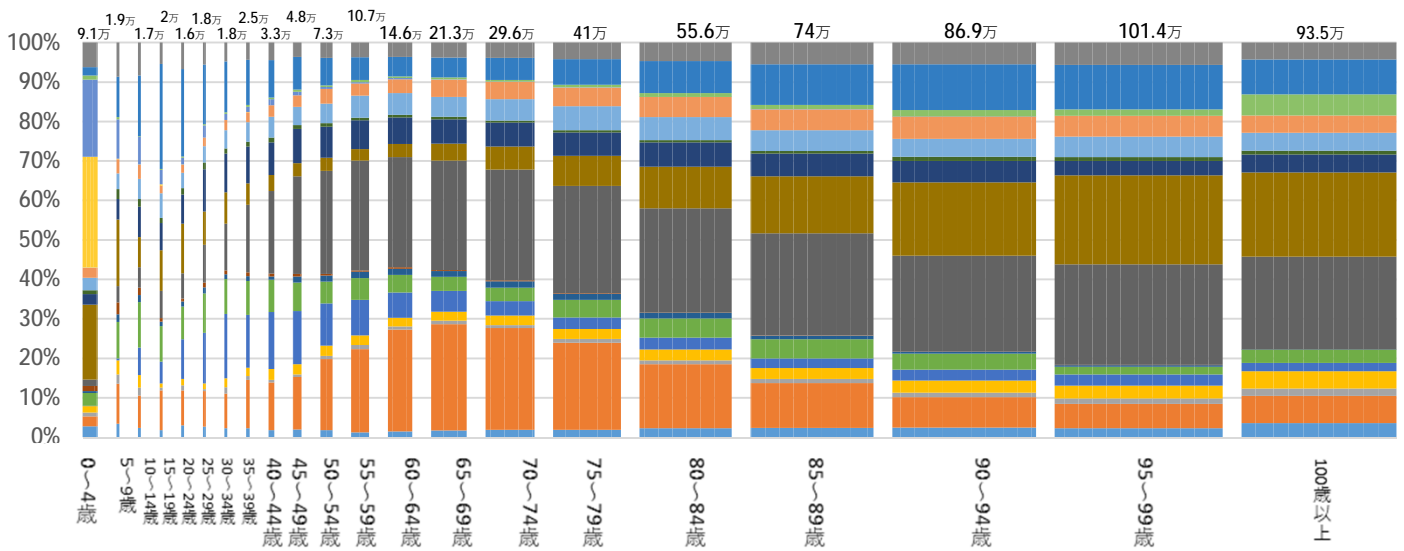
【一人当たり入院医療費】

- 男性では女性に比べ、高齢期における「呼吸器系の疾患」が大きい
- 女性では男性に比べ、高齢期における「損傷、中毒及びその他の外因の影響」が大きい

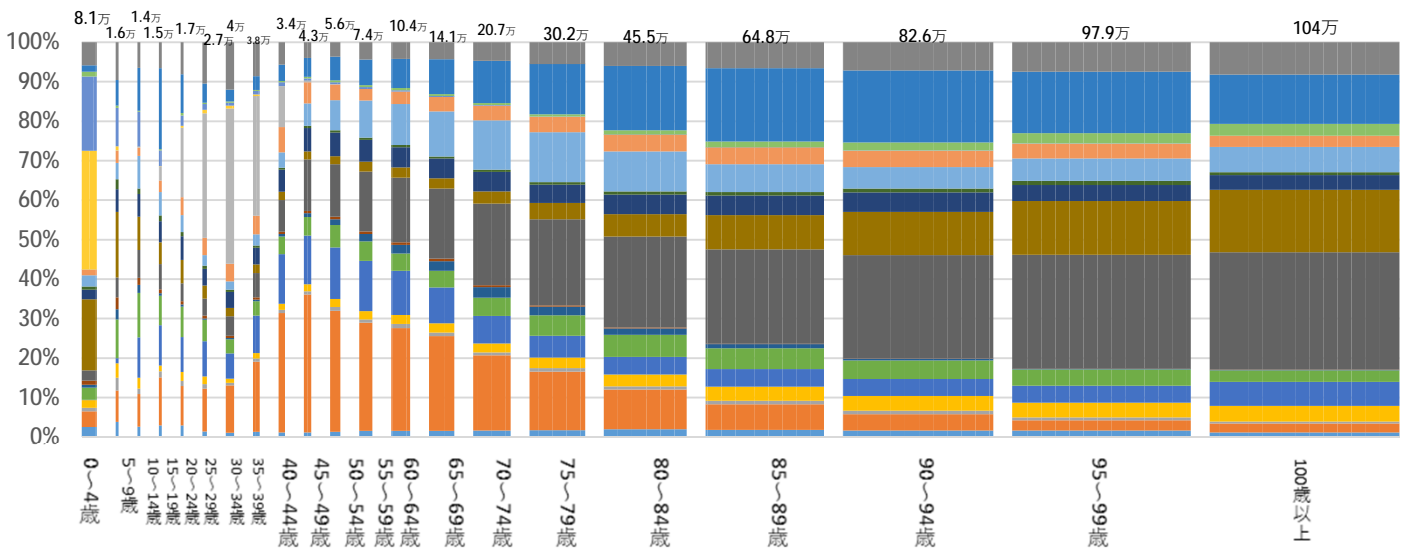
一人当たり入院・男女計・大阪府（2017年度）



一人当たり入院・男・大阪府（2017年度）



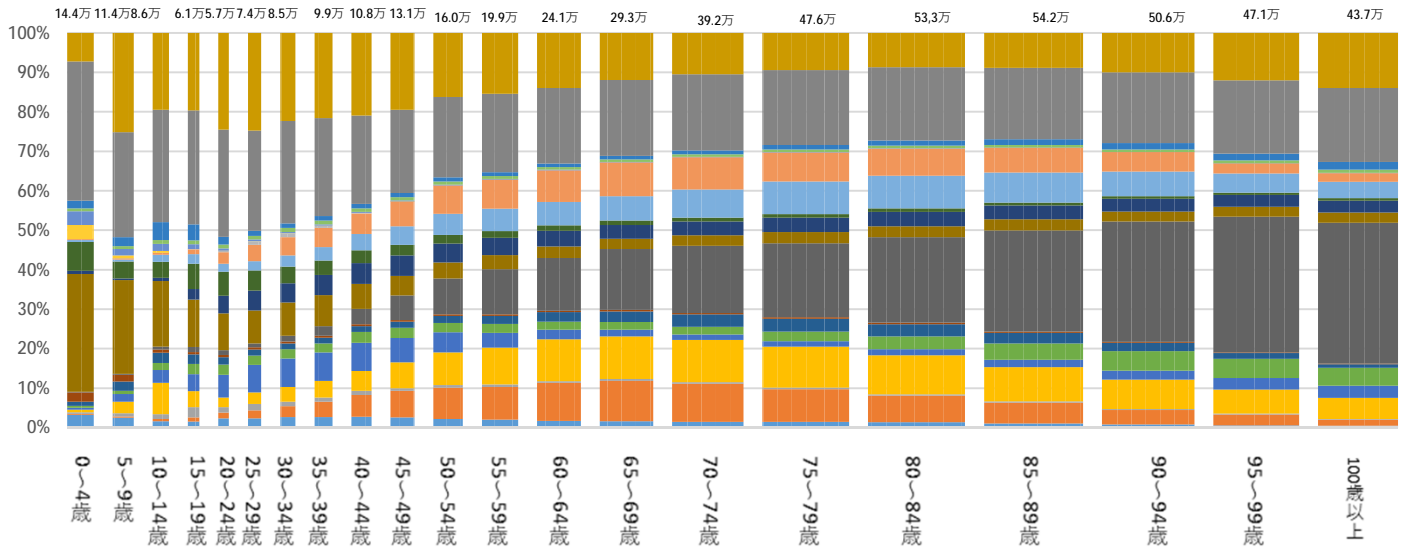
一人当たり入院・女・大阪府（2017年度）



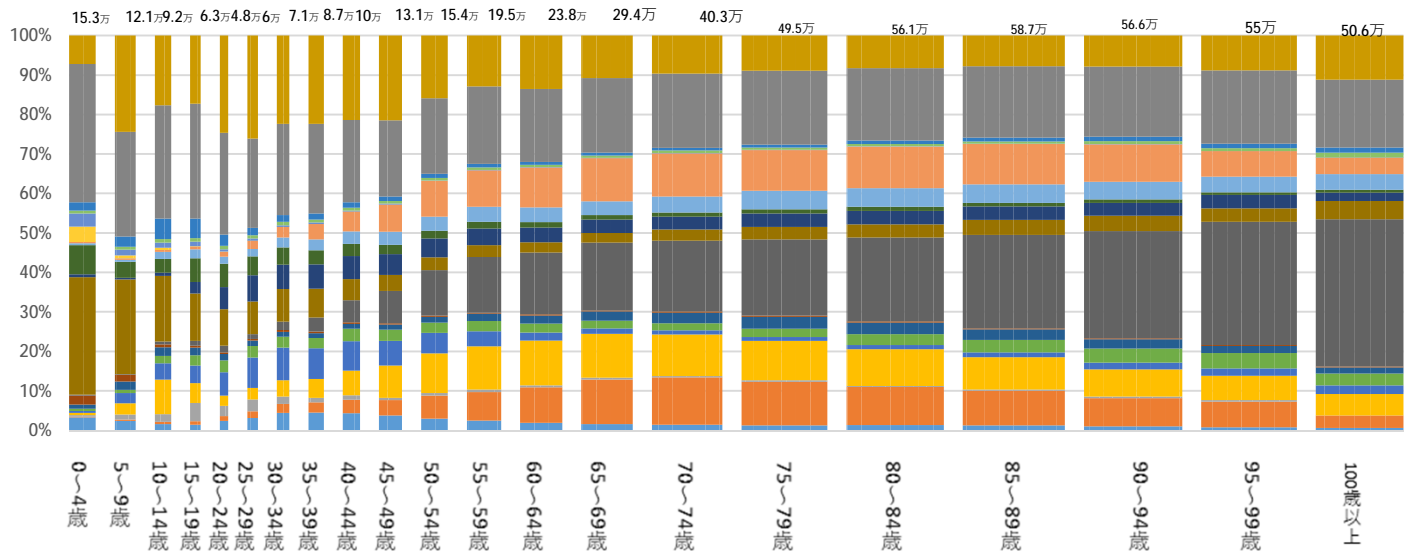
【一人当たり入院外医療費】

- 入院に比べ、男女による差異は小さい
- 高齢期において、「腎尿路生殖器系の疾患」は男性では大きく女性では小さく、「筋骨格系及び結合組織の疾患」は女性では大きく男性では小さいのが特徴

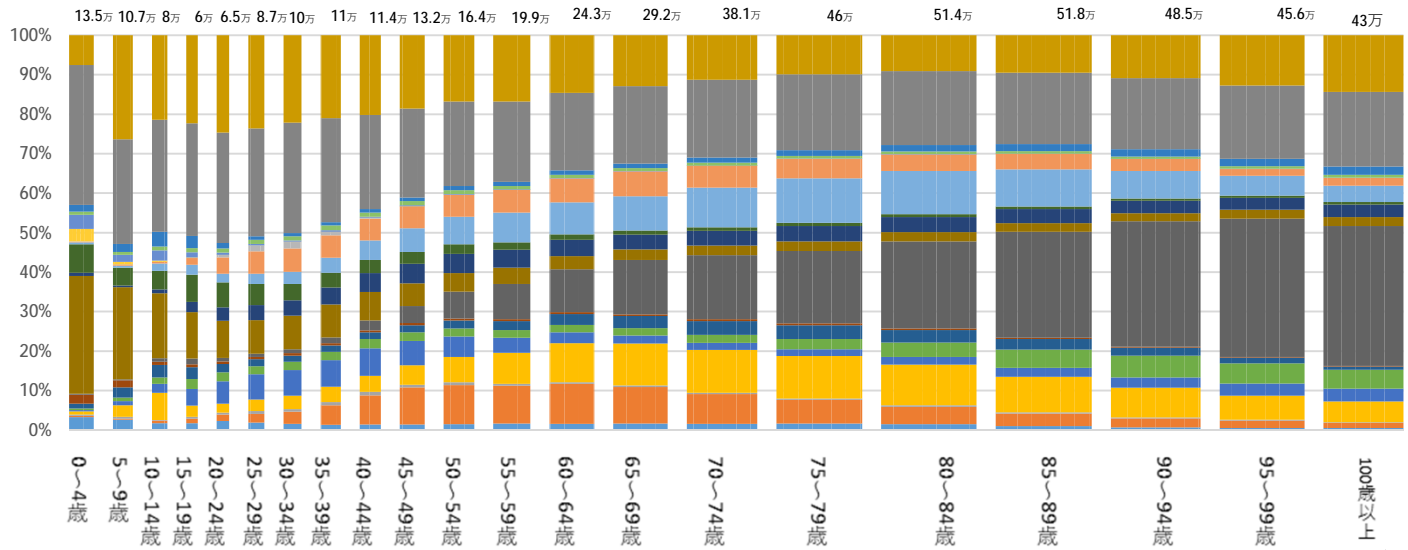
一人当たり入院外・男女計・大阪府（2017年度）



一人当たり入院外・男・大阪府（2017年度）



一人当たり入院外・女・大阪府（2017年度）



- 感染症及び寄生虫症
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 精神及び行動の障害
- 眼及び付属器の疾患
- 循環器系の疾患
- 消化器系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 妊娠、分娩及び産じょく
- 先天奇形、変形及び染色体異常
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 分類できない疾病
- 新生物〈腫瘍〉
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 神経系の疾患
- 耳及び乳様突起の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 周産期に発生した病態
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 特殊目的用コード
- 歯科